



令和8年6月2日

【照会先】

大分労働局 労働基準部

健康安全課長 阿部 敬

課長補佐 原田 英一

電話 097-536-3213

報道関係者 各位

大分県における令和7年の労働災害発生状況

～ 死亡者は前年比1人減少、死傷者は4年ぶりに減少 ～

大分労働局（局長 秋山 雅紀）では、令和7年に大分県内で発生した労働災害発生状況を取りまとめましたので公表します。

令和7年の大分県内における労働災害発生状況の概要

1 死亡者数

（1）全産業における死亡者数は9人で、前年から1人減少した。

（2）業種別では、林業が3人、建設業2人、清掃・と畜業2人、運輸交通業1人、畜産・水産業1人であった。

2 死傷者数（新型コロナウイルス感染症り患者を除く）

（1）全産業における休業4日以上の死傷者数は1,250人と、前年から120人（8.8%）減少した。

（2）業種別では、件数の多い順に、製造業213人、建設業及び保健衛生業190人、商業187人、運輸交通業110人であった。

（3）主な業種における前年比増加率は、高い順に、鉱業+100%（+2人）、畜産・水産業+31.3%（+5人）、運輸交通業+3.8%（+4人）であった。

（4）主な業種における前年比減少率は、高い順に、保健衛生業-15.9%（-36人）、製造業-14.1%（-35人）、商業-10.1%（-21人）であった。

（5）事故の型別では、16年連続で「転倒」378人（30.2%）が最も多く、次いで「墜落、転落」209人、「動作の反動、無理な動作」183人、「はさまれ、巻き込まれ」113人であった。

（6）熱中症によるものは25人（2.0%）であった。

3 参考

新型コロナウイルス感染症り患者数は20人であり、これを合わせた休業4日以上の死傷者数は1,270人であった。

大分労働局の今後の取組

大分労働局及び県下の各労働基準監督署は、本年度においても労働災害防止団体等との連携を図りながら、死亡災害の撲滅及び行動災害防止対策の推進を重点に以下の事項を推進していきます。

- 1 大分労働局版「第14次労働災害防止計画」の周知とともに、アウトプット指標の達成に向けて、8つの重点事項を推進する。
- 2 5月から9月までを期間とする「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」の推進により、熱中症予防対策の徹底を図る。
- 3 大分労働局が独自に推進している「経営トップの安全衛生に関する所信表明」
「各建設現場2項目重点労働災害防止運動」に取り組む。
- 4 全国安全週間（7月1日～7日）とその準備期間（6月1日～30日）に、事業場、関係業界団体等に対して、説明会の開催、労働局長パトロールの実施等により労働災害防止の取組の確実な実施を働きかける。

資料1 令和7年 業種別労働災害発生状況（新型コロナウイルススリ患者除く）

資料2 令和7年 業種別・署別労働災害発生状況（新型コロナウイルススリ患者除く）

資料3 令和7年死亡労働災害発生状況

資料4 労働災害発生状況

資料5 第14次労働災害防止計画のアウトプット指標の達成状況のまとめ